



【証券コード：9651】

日本プロセス株式会社 決算説明会

2023年5月期 第2四半期



2023年1月20日

1. 2023年5月期 第2四半期連結決算

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

1. 2023年5月期 第2四半期連結決算

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

2023年5月期第2四半期 連結決算の概況

単位：百万円

	期首 計画	計画 対比	実績	前年 対比	前年
売上高	4,100	+202 +4.9%	4,302	+627 +17.1%	3,675
営業利益 (利益率)	415 (10.1%)	+32 +7.8%	447 (10.4%)	+102 +29.8%	344 (9.4%)
経常利益 (利益率)	435 (10.6%)	+32 +7.5%	467 (10.9%)	+93 +25.1%	373 (10.2%)
四半期純利益 (利益率)	285 (7.0%)	+23 +8.4%	308 (7.2%)	+83 +37.3%	225 (6.1%)

売上高

前年比： +627百万円 (+17.1%)

全セグメントで好調

大規模案件請負増加による進行基準売上増

営業利益

前年比： +102百万円 (+29.8%)

前年及び計画値を上回り、利益率も上昇

経常利益

前年比： +93百万円 (+25.1%)

営業利益増に伴い上昇

四半期純利益

前年比： +83百万円 (+37.3%)

固定資産を減損 (40.8M¥)

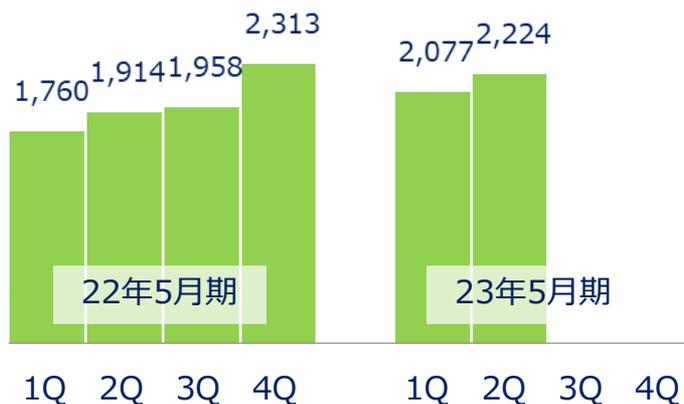
(法人税は簡便法で計上)

- 主要株主の異動
 - ・ 主要株主である筆頭株主の異動、業績に影響なし
- 固定資産の減損
 - ・ 遊休保養施設を減損（40.8M¥）
- サステナビリティの取り組み
 - ・ ESG投資は継続（民間鉄道会社ESG債へ投資）
 - ・ Webサイトで環境目標を開示

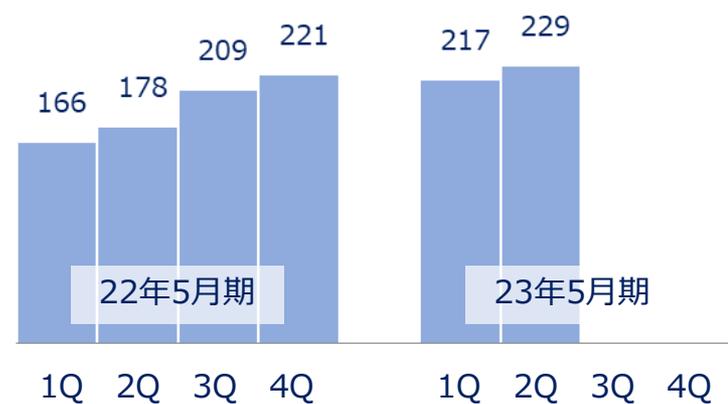
2023年5月期第2四半期 連結決算の四半期推移

単位：百万円

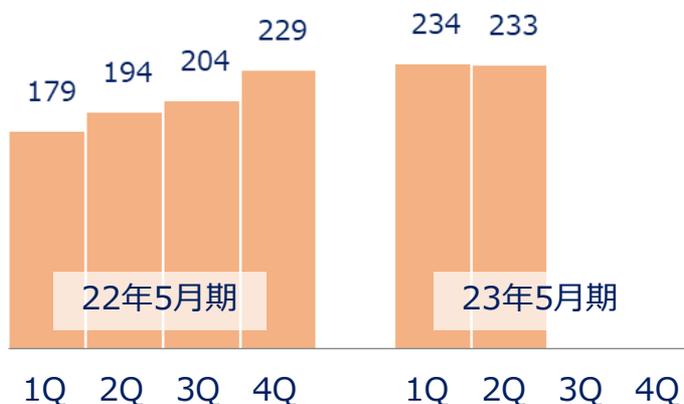
売上高



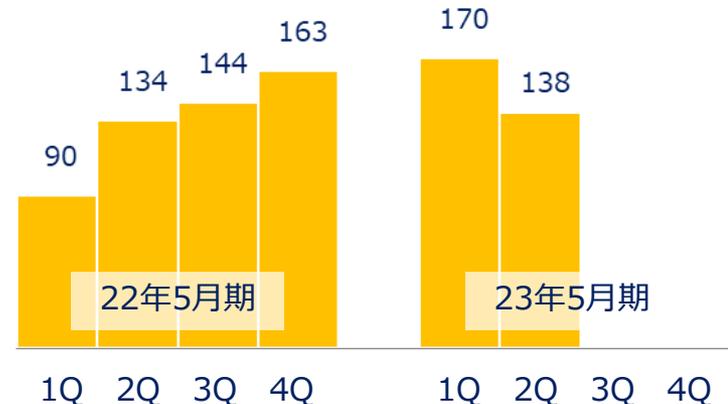
営業利益



経常利益



当期純利益



セグメント別売上増減

単位：百万円

627百万円の増加 (前年同期比：+17.1%)



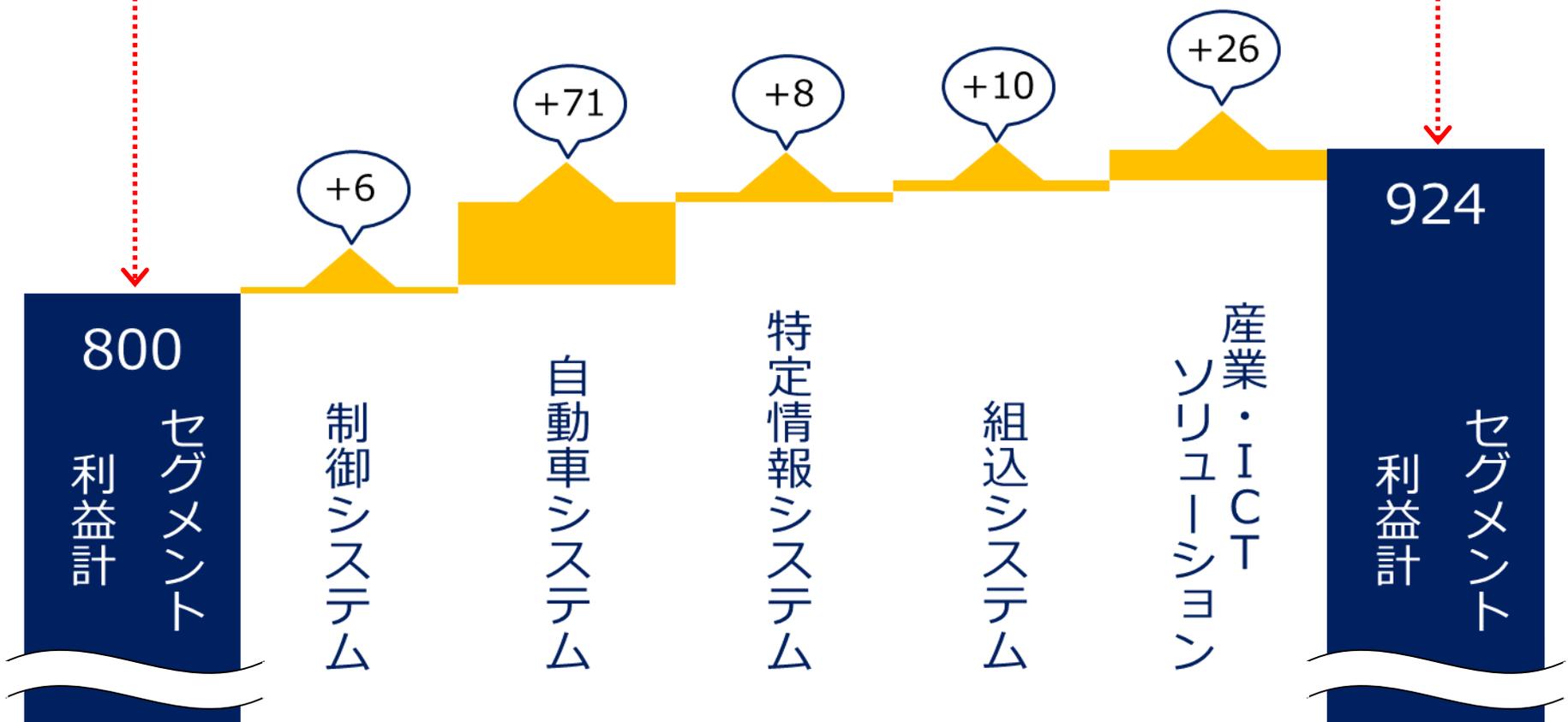
22年5月期
第2四半期

23年5月期
第2四半期

セグメント別利益増減

単位：百万円

123百万円の増加（前年同期比：+15.4%）



22年5月期
第2四半期

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

23年5月期
第2四半期

制御システム

- 再生可能エネルギー、プラント監視制御で開発量が増加
- A T O Sは体制を拡大、新幹線は堅調、在来線は開発量が減少

単位：百万円

セグメント		22年5月期 第2四半期 (利益率)	23年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
制 御 シ ス テ ム	売上	623	645	+21 (+3.5%)
	利益	138 (22.2%)	144 (22.4%)	+6 (+4.6%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

自動車システム

- AD/ADASは端境期のため開発量が減少
- パワートレイン制御は電動化案件の受注量が増加
- 車載情報関連は開発量が増加し売上・利益が増加

(AD：自動運転、ADAS：先進運転支援システム)

単位：百万円

セグメント		22年5月期 第2四半期 (利益率)	23年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
自動車システム	売上	906	1,045	+139 (+15.4%)
	利益	230 (25.4%)	301 (28.9%)	+71 (+31.1%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

特定情報システム

- 危機管理関連は大規模案件の開発ピークは過ぎたが堅調
- 衛星関連システムは新規案件に参画
- 画像認識/識別は体制を縮小

単位：百万円

セグメント		22年5月期 第2四半期 (利益率)	23年5月期 第2四半期 (利益率)	増減 (増減率)
特定情報システム	売上	312	389	+77 (+24.8%)
	利益	73 (23.5%)	82 (21.1%)	+8 (+11.9%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

組込システム

- ストレージデバイスは担当範囲を拡大し好調も、新ストレージは横ばい
- IoT建設機械は体制を縮小

単位：百万円

セグメント		22年5月期 第2四半期 (利益率)	23年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
組込システム	売上	599	665	+66 (+11.1%)
	利益	140 (23.4%)	150 (22.6%)	+10 (+7.4%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

産業・ICTソリューション

- 航空宇宙関連は複数の大規模案件に参画し売上増
- システム構築は受注量が増加
- 社会インフラ関連は駅務機器が堅調

単位：百万円

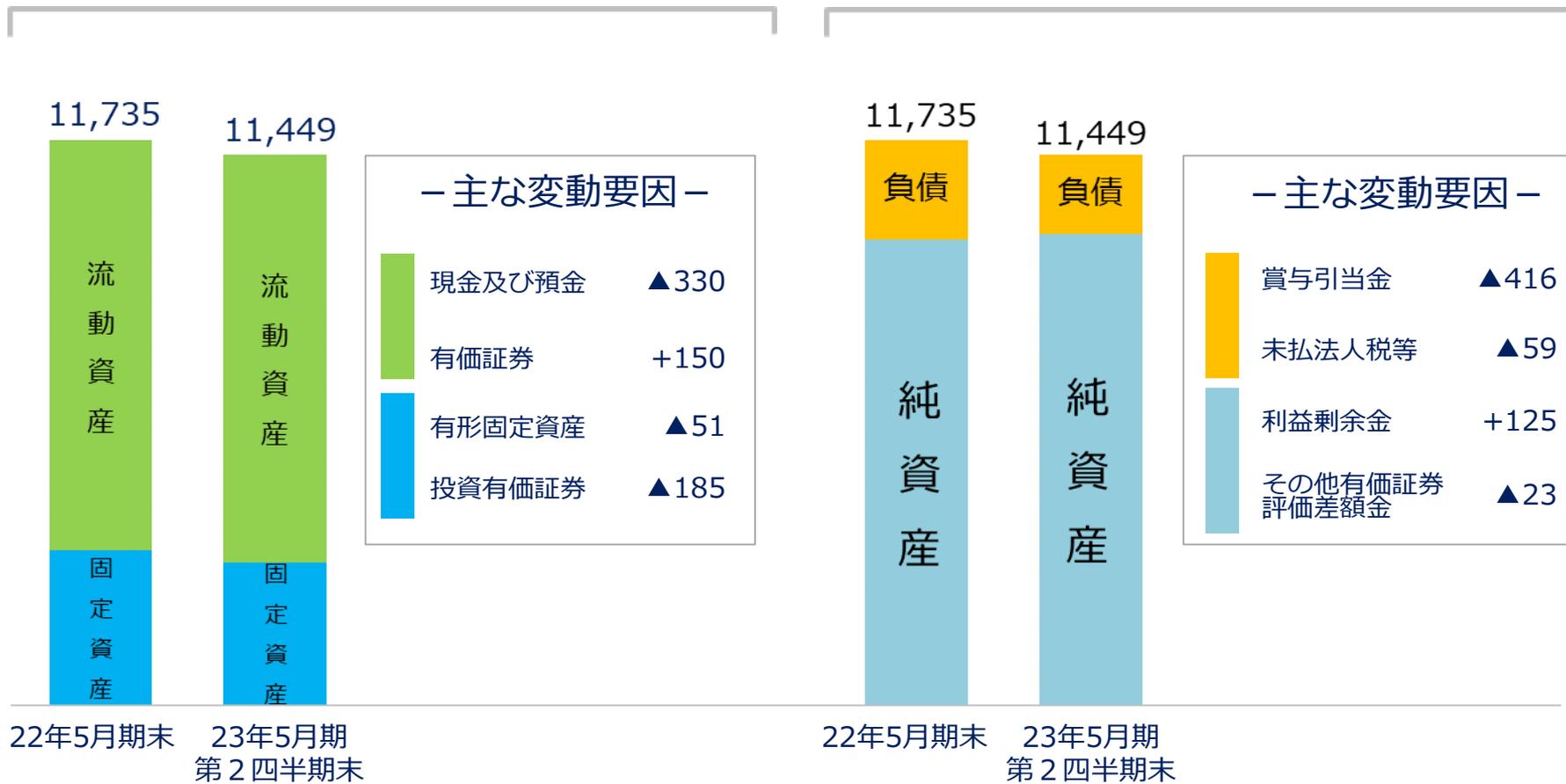
セグメント		22年5月期 第2四半期 (利益率)	23年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
産業・ICT ソリューション	売上	1,234	1,555	+321 (+26.1%)
	利益	218 (17.7%)	244 (15.7%)	+26 (+12.1%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

資産の部

負債/純資産の部

単位：百万円

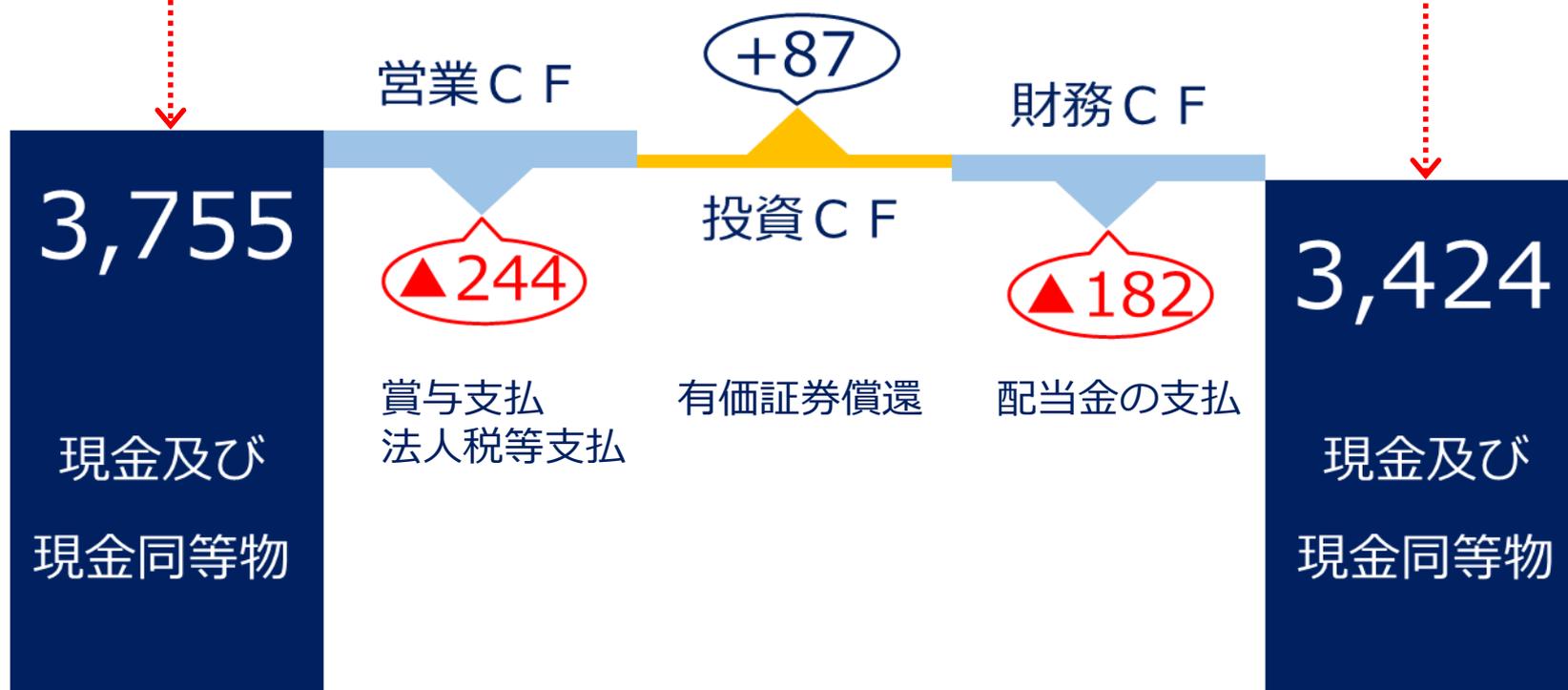


財務指標（その他）

	22年5月期 第2四半期	23年5月期 第2四半期	(参考) 22年5月期
純資産額	9,437百万円	9,801百万円	9,671百万円
1株当たり純資産	987.9円	1,014.5円	1,002.9円
1株当たり四半期 (当期)純利益	23.42円	32.02円	55.63円
自己資本比率	87.5%	85.6%	82.4%
自己株式	1,102,126株	984,439株	1,000,926株
従業員数	656人	681人	674人

単位：百万円

期首残高より**330**百万円の減少



23年5月期
期首残高

23年5月期
第2四半期末残高

※23年5月期第2四半期末残高は、為替変動による増加分9百万円を含んでおります。

1. 2023年5月期 第2四半期連結決算

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

中期経営ビジョン

ソフトウェアで
社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する。

基本方針（2022年5月期～2024年5月期）

1. 人材育成のための大規模案件請負の推進
 - ①大規模案件受注に向けた営業力強化
 - ②新規設計力の向上
 - ③マネージメント力の向上
2. T-SESのトータル度向上

(T-SES : トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス) JPDの造語

1. 人材育成のための大規模案件請負の推進

①大規模案件請負受注に向けた営業力強化

部門間の営業連携と本社の営業支援を強化し、大規模案件の請負を狙う。

②新規設計力の向上

大規模案件等で、新規設計する機会をより多く創出し、新規設計力の向上を図る。

③マネージメント力の向上

大規模案件等で、プロジェクトをマネージする機会をより多く創出し、マネージメント力の向上を図る。

2. T-SESのトータル度向上

長期的な取組であるT-SESのテーマとして、各分野でトータル度を向上し、顧客へのサービス価値を拡大する。

1. 人材育成のための大規模案件請負の推進



【進捗状況】

- エネルギー分野で電力グリッドの案件を新たに開始
- 危機管理関連は開発を終え、次案件の受注を模索
- 航空宇宙関連は継続開発に向け体制準備中

2. T-SESのトータル度向上



【進捗状況】

- AD/ADAS基本ソフトは新担当範囲の品質確保に注力
- 在来線運行管理は一括受注体制準備も適用案件が未定

1. 2023年5月期 第2四半期連結決算

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

2023年5月期 連結数値

単位：百万円

	22年5月期 実績	23年5月期 見通し	増減額 (増減率)
売上高	7,947	8,400	+452 +5.7%
営業利益 (利益率)	775 (9.8%)	780 (9.3%)	+4 +0.6%
経常利益 (利益率)	808 (10.2%)	830 (9.9%)	+21 +2.7%
当期純利益 (利益率)	532 (6.7%)	535 (6.4%)	+2 +0.4%

制御システム

- 電力グリッドの大規模案件を進め、再生可能エネルギーの次期システム受注を狙う
- ATOS、新幹線の開発を進め、担当規模拡大を狙う
- 在来線は一括受注に向けた準備とAI案件の受注拡大を狙う

自動車システム

- AD/ADASは基本ソフトの既存開発の担当機能拡大と新規開発の受注拡大を狙う
- パワートレイン制御は電動化案件の体制拡大を狙う
- 車載情報関連はクラスターメーターを進め、次案件受注を狙う

特定情報システム

- 衛星関連システムの体制拡大
- 公共システム分野の新規顧客開拓継続
- 危機管理関連は大規模案件開発が収束し次案件へ種まき
- 画像認識/識別は衛星画像は堅調も拡大は見込めず

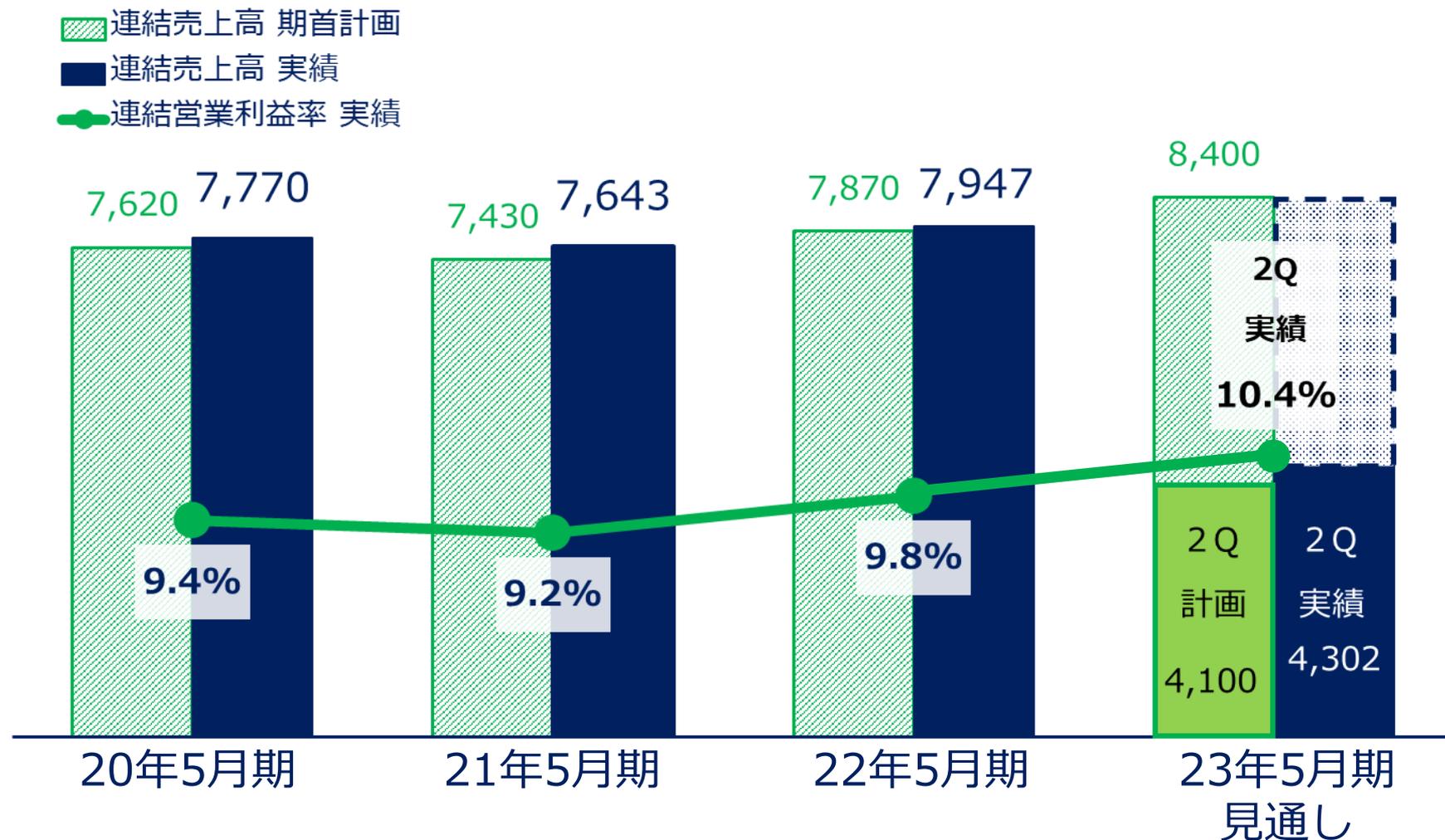
組込システム

- ストレージは順調に拡大してきたが、メモリ市況の悪化により鈍化
- IoT建設機械は関連システムの組込みソフト開発を開拓

産業・ICTソリューション

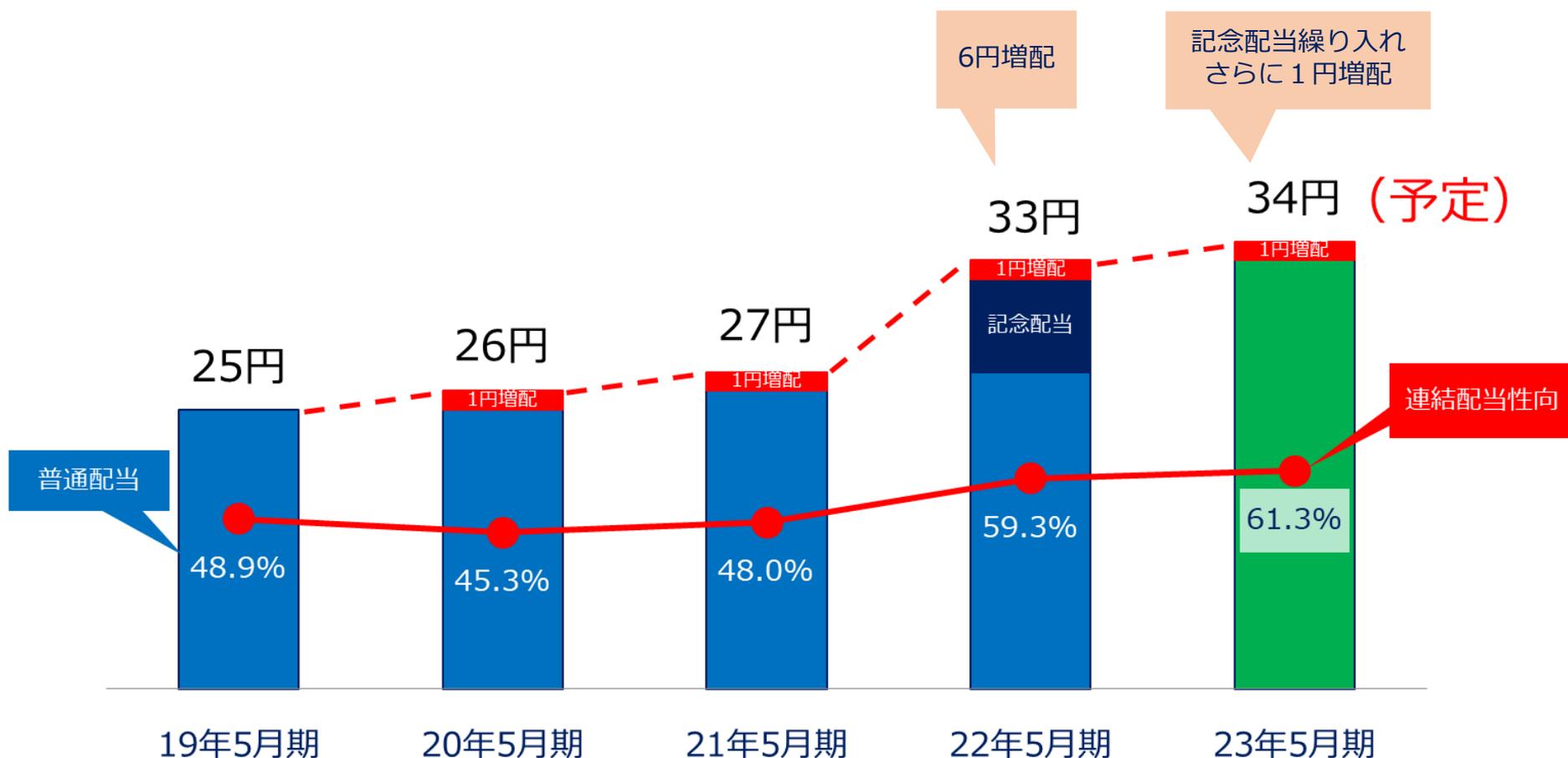
- 航空宇宙関連は大規模案件の継続開発を進め、次案件の受注を狙う
- 社会インフラ関連は駅務機器が好調も他が回復せず減少
- システム構築は複数案件の作業がピークとなり堅調

業績の推移



配当方針

- ① 安定的配当の継続
- ② 連結配当性向概ね50%以上を目標



ソフトウェアで
社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献します。

免責事項

本資料は作成時点での予測や仮説に基づく記述が含まれています。
これら将来の見通しに関する記述についてはその実現を保証するものではなく、
既知、未知のリスクや各種要因により実際の結果、業績と異なることがあります。

お問合せ

経営企画部 部長 長坂啓司

keikibu@jpd.co.jp